

書 評

石光章利著：ペレット「製鉄用のペレット製造及び資料」

我国の鉄鋼業は急成長し、世界における先進的地位を占めるに至つたが、その新鋭技術は自溶性焼結鉱を中心とする塊成鉱技術に負うところが大きである。しかし世界的な鉄鉱石の貧鉱化を反映して、1956年頃より次第にペレットの輸入が増大し、また国内にも本格的なペレット工場が稼動を開始して、ペレットの関心が高まり、焼結鉱とペレットの共存時代に入った観が強い。この時期に本書が出版されたことは意義が深い。

本書は著者が八幡製鉄技術研究所に在職中に、ペレットの研究および調査に従事し、その間に集収した多くのデータを駆使してまとめたものである。

本書の内容は3部にわかれ、第I部は概説でペレットの歴史およびその占める位置づけから説き起し、製造方法は造粒、焼成など具体的な表や図面などを示しながら詳細に解説を行なつている。第II部は現存する世界のペレット工場の資料であり、米国、カナダ等日本では入手し難い多くの工場について集収した資料にもとづいて詳細に述べ、その数は世界の45工場に及んでいる。第III部は現在のペレットの持つ基本的な性質につき述べたもので、結合機構、焼結機構、フクレ、スラグボンドなどの研究状況、考え方などを述べてしめくくつている。

エネルギー、資源ともに種々の難問が山積みしている現在、我国の製鉄業にたずさわる諸氏、ならびに現在勉学中の学生諸君に御一読をおすすめる次第である。(相馬胤和)

(A5判, 299ページ, 上製本, 定価 3,900円, (株)たたら書房発行)

「ESR 鋼塊、鋼材の欠陥事例集」刊行のお知らせ

本欠陥事例集は鉄鋼基礎共同研究会、特殊精錬部会、第2分科会の研究活動の成果として刊行するものであります。

第2分科会はESR実操業の問題点を整理、明確化し同部会の他分科会の基礎研究活動の参考に資する目的で昭和49年6月以降活動を続けています。この目的に沿つて、これまで分科会構成各社で経験したESR鋼塊、鋼材の欠陥事例について、その原因および防止策を、ESR操業条件との関連で検討してきました。本欠陥事例集は、その検討結果を取りまとめたものであります。欠陥事例36件を鋼塊表面欠陥、鋼塊内部欠陥および鋼材内部欠陥に大別し写真で明示しました。ESR鋼塊、鋼材の欠陥事例集は公の刊行物としては、世界にも例がなく、現在ESR実操業にたずさわっている人にも、これからESRを勉強しようという立場の人にも、役に立つ貴重な資料と存じますので下記要領で頒布することになりました。ここに会員の皆様にお知らせ致します。

1. 価 格 800 円
2. 申込要領 書名、部数、送付先を明記のうえ代金を添えて現金書留にてお申込み下さい。
3. 申 込 先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階  
日本鉄鋼協会技術部 山本 (03) 279-6021

特殊精錬法文献集の有償頒布について

鉄鋼基礎共同研究会、特殊精錬部会の一つである第6分科会ではESRにとどまらず、ひろく特殊精錬すなわち取鍋精錬や特殊溶解に関する情報の収集を担当しております。このような情報活動の成果をひろく関係者の参考にしていただくため、ESR法に関しては、すでにESR文献集第1集、第2集としてその成果を刊行して参りましたが、特殊精錬法に関してもESRの場合に準じて調査をおこない、その成果をここに特殊精錬法文献集第1集として刊行することにいたしました。

対象とした特殊精錬法は、たんなる脱ガス法、スラグ処理法などを除いた溶鋼の取鍋精錬法(VOD, AOD, ASEA-SKF法など)および特殊溶解法(VIM, VAR, EBM, EBR, PAM, PAR法など)であり、各プロセスの設備、操業技術、応用技術ならびに基礎研究結果などを網羅しております。本文献集第1集は主として1960年以降の国際会議、シンポジウム、学協会誌および専門誌に発表された論文ならびに資料について、図、表、写真などにより内容を分類し、雑誌別、プロセス別に整理編集してあります。なお本文献集に集録しました件数は欧文579件、和文195件の合計774件であります。本文献集を広く皆様方に御利用いただくため下記要領で頒布することになりましたので、ここに会員の皆様にお知らせ致します。

1. 頒布価格 2,000 円
2. 申込方法 書名、部数、送付先を明記のうえ代金を添えて現金書留にてお申込み下さい。
3. 申 込 先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階  
日本鉄鋼協会技術部 山本由己 Tel. 03-279-6021